

# 電報送達紙の系譜

History of telegram delivery form

1860 1870 1880 1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030

1871  
6月 外国との電報送受を開始

1869  
9月 東京・横浜で電信線仮設工事に着手  
12月 東京・横浜で電報取り扱い開始



1908  
5月 銚子無線局にて船舶用無線電報取り扱い開始



1922  
電報にタイプライター使用開始



1934  
12月 年賀電報取り扱い開始

1930  
8月 東京ー大阪間で  
写真電報取扱開始

1936  
12月 慶弔電報取り扱い開始



1952  
8月 日本電信電話公社が発足

1957  
1月 南極昭和基地との電報による無線電信開始

1954  
3月 最初の電報中継機械化実施(水戸電報局)

1963  
年度別電報取り扱い通数ピーク(9,461万通数)

1966  
7月 全国電報中継機械化完了



1985  
4月 日本電信電話株式会社発足  
4月 メロディ電報販売開始

1986  
1月 フラワー電報販売開始  
4月 おし花電報販売開始

1987  
2月 横書き電報サービス開始  
12月 刺しゅう電報販売開始

1988  
9月 ひらがな電報サービス開始

1992  
1月 うるし電報販売開始

1996  
3月 PC直接発信開始  
1997  
5月 インターネットによる電報申し込み(D-MAIL)サービス開始  
1998  
2月 キャラクター電報(ハローキティエンジェル)販売開始電報そ通システム(DREAMS)更改

1994  
2月 漢字電報サービス開始

1993  
新電報そ通システム(TIXAS-II)更改

1994  
2月 漢字電報サービス開始

2000  
12月 七宝電報販売開始

1999  
東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社発足

2005  
9月 プリザーブドフラワーDENPO販売開始

\*図1

項目	電報料	送料
昼間電報	1通につき100円(25文字以内)	300円
夜間電報	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(25文字以内)	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(26文字以上)	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(25文字以内)	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(26文字以上)	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(25文字以内)	1通につき150円(25文字以内)	400円
漢字電報(26文字以上)	1通につき150円(25文字以内)	400円

\*図2

項目	電報料	送料
漢字電報	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(26文字以上)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(25文字以内)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(26文字以上)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(25文字以内)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(26文字以上)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(25文字以内)	1通につき100円(25文字以内)	300円
漢字電報(26文字以上)	1通につき100円(25文字以内)	300円

2022  
10月 制度見直し  
(平日配達受付時間を午後7時→午後5時へ変更)<sup>\*図3</sup>

2023  
1月 制度見直し  
(文字数単位料金からページ単位料金へ変更)<sup>\*図4</sup>